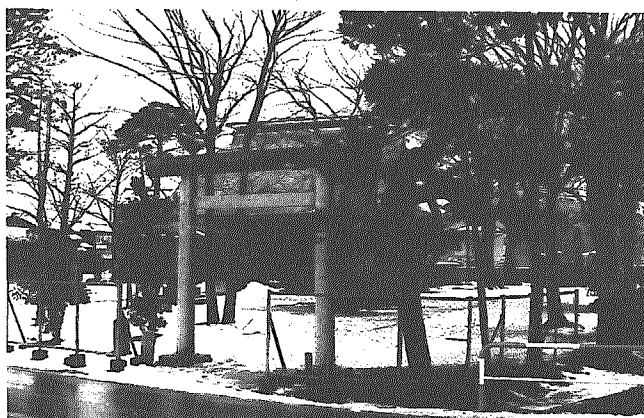


シリーズ
35
和納2区

歴史と伝統が根づく街

■今日の「おじゃまします」—地域情報ネットワーク—は、村の無形民俗文化財に指定されている和納十五夜まつり「草花火神事」が行われる和納八幡神社のお勝元、和納二区におじゃましてみました。



夏は十五夜まつりで賑わう八幡神社も、今は静かに冬景色が似合う

和納二区は、和納地区全体からみて丁度顔のような位置と形容したらいいのでしょうか、具体的にいうと、和納三社神社の一つである八幡社を中心に岩室駅、楞嚴寺（りょうごんじ）を通りで結んだ範囲といったらわかりがいいでしょうか。

区制になる前は八幡前と呼ばれ、昔から八

幡社をいわば鎮守として、深いつながりを持ちながら他にはない雰囲気と人情を育んできた地区です。

この区長さんは、会社の退職を機に、やっぱり故郷和納にひかれ、埼玉県からUターンしたという口ヒゲのよくにあう、大越誠毅（68歳）さんです。

「区長の大役を受けて、七年になりますが、ようやく落ち着いたというのが実直な感懐です。そうですね。そうですね、こちらに移った翌年かなんですから、無我夢中でしたよ。でもね、地域の人達はすばらしいですよ。我慢しながらも、ここまで教える育ててくれましたから。喜んでいきます」と感謝の弁。

現在は57世帯二百三十五人ですが、他の区と違って街並が増えるという要素は小さく、車社会や世代交代の波などから、むしろドーナツ化の傾向がみられるはじめての和納二区です。このように、昔から動きのすくないこの地区の特徴は、かえって和納らしさを今に伝える歴史と伝統が根づく街らしさをとどめさせてきたのかもしれない。ところで、自慢の八幡前集落開発センター（昭和六十一年完成）は、区の人達の心のよりどころとして、又、新しい風となつていまだ大きく機能しています。

「もう完成してから六年になります。本当によかったと思っています。一区、九区との共同の財産ですが、心通い合う、すばらしい場として機能していますよ。それぞれの生活に違いはあっても、一緒に活動できるところが身近にあるということとは、心の張りにつ



和納2区区長
大越誠毅さん
(68歳)

ながると思うんですよ」と、満足そうです。

夏まつりには、村の無形民俗文化財に指定されている三社神社祭礼行事の草花火神事が行われる唯一の場として賑わいます。こんな伝統的な行事が残っていることも町内のまとまりの絆になっているのかもしれない。

「当区は要所に位置している割には、生活は静かですが、最近では、老人クラブや婦人会などのほか、大正琴、ちぎり絵、民謡の輪も広がってきていますし、最近ではカラオケなども盛んで、区全体に活気が感じられます。これからは年代ごとの輪切りの交流から、子どもから高齢者に至るまでの縦の交流も深まるといいですね」とチョッピリ注文も話す区長さん。最後に、「和納の移り変わりを見守ってきた八幡社の大ケヤキを共通のシンボルとして、人情の行き交う、歳時記のある和納二区を築いていきたいと思えます」と、力強い展望でまとめてくれました。



地区民の交流拠点、八幡前集落センター

和納2区
ミニデータ (人口と世帯)

人口	男	女	世帯
235人	113人	122人	57世帯

(平成3年1月1日現在)

新潟県立自然科学館 催物のご案内

ハクチヨウ観察会 日時：12月3日までの日曜・祝日午後1時30分～

■観覧料：通常の入館料 ※天候等により中止することもあります。プラネタリウム「北斗七星物語」放映中 日放映回数：平日は2回、日曜・祝日は5回

■観覧料：通常の入館料です。 ※その他、詳しくは県立自然科学館（☎025-283-3331）へ

ボイラーの省エネ・熱管理等技術研修開催案内

日時：2月19日(火)午前10時半～

会場：新潟県土地改良会館

申込期限：2月14日(木)期限厳守

ボイラー取扱技能講習会の開催案内

日時：2月21日、22日各日も午前9時～

会場：経協会館

※なお両講習会についての詳しい内容については、(社)日本ボイラ協会新潟支部 ☎25-245-7535へ

お詫びします

広報1月号のおめでた、おくやみ欄(P13)で、最下段の松本さんの住所が「岩谷」とあるのは、「新谷」の誤りでしたので、ここに訂正し深くお詫び申し上げます